

### 3. 真皮内母斑 intradermal nevus ★

母斑細胞がほぼ真皮に局限する (図 20.4). 深部に行くほどメラニン産生能が低下し, サイコロ状からやや小型で紡錘形, Schwann 細胞に類似した外観に変化する. 体幹に生じた有茎性・乳頭状表面のものを Unna 色素性母斑<sup>ウンナ</sup>, 顔面に好発し半球状, 軟毛を伴うものを Miescher 母斑<sup>ミーシャー</sup>という.

#### 特殊型

### 1. 巨大先天性色素性母斑 giant congenital melanocytic nevus ★

一般的に直径 20 cm を越えるものをいう. 出生時から存在し, ときに黒色の剛毛を伴う (獣皮様母斑, 図 20.5). 悪性黒色腫のリスクがあり, まれに中枢神経症状を伴う (神経皮膚黒色症, p.402 参照).

### 2. 分離母斑 divided nevus

主に眼瞼<sup>がんけん</sup>の上下に分布する中型の母斑細胞母斑. 目を閉じると一つの病変に見えるが眼を開けると眼裂により 2 つに分割される. ほとんどが出生時から存在し, 黒褐色を呈する (図 20.6).

### 3. 爪甲黒色線条型母斑 melanonychia striata type nevus

爪甲に縦走する黒色線条をきたす (図 20.7). 19 章 p.372 も参照. 大部分は爪母に生じた母斑細胞母斑であるが, 線条が爪<sup>ハフチンソン</sup>の外にまで及ぶ場合は悪性黒色腫の可能性が高い (Hutchinson 徴候).

### 4. Spitz 母斑 Spitz nevus

同義語: 若年性黒色腫 (juvenile melanoma), spindle and epithelioid cell nevus

#### Essence

- 青少年に好発する母斑細胞母斑の一種.
- 頭頸部などに突然出現, 比較的急速に直径 1 cm 程度まで拡大. 周囲が紅色調を呈する場合もある.
- 臨床的, 病理組織学的に悪性黒色腫に類似することもある

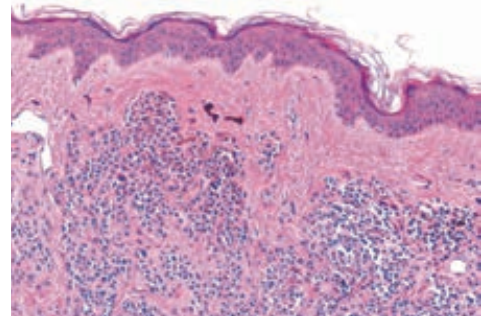


図 20.4 母斑細胞母斑の病理組織像



図 20.5 巨大先天性母斑細胞母斑 (giant congenital melanocytic nevus)

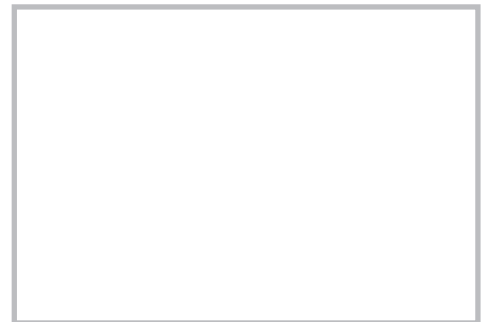


図 20.6 分離母斑 (divided nevus)



図 20.7 爪甲黒色線条型母斑 (melanonychia striata type nevus)